

A. 主な動き

1. 内政

▼言語関連法案審議を巡る動き

・5日、最高会議は、地域党議員提案の「国家の言語政策の基本方針に関する」法案を第一読会にて採択。同日、同法案に反対する野党支持者及び賛成する地域党支持者等が最高会議を包囲し、野党支持者と特殊機動隊との間で衝突が発生。野党支持者は独立広場に移り、抗議集会を継続。

・同日、ヤツェニウク「変化の前線」党党首及びトゥルチーノフ「バチキフシナ」党第一副党首は、「統一野党」は同法案の第二読会での採択を阻止するための運動を開始する旨発表。

▼ティモシェンコ前首相等に関する動き

・5日、独病院「シャリテ」のライスハウエル女医等は、ティモシェンコ前首相の健康状態は改善しているとした上で、今後国外への移送が不可能な場合は、キエフへ移送し「自宅軟禁」状態での治療継続が理想的である旨発言。

・7日、アザーロフ首相は、シュルツ欧州議会議長との継続した協議の結果、クファシニエフスキ元ポーランド大統領及びコックス元欧州議会議長をティモシェンコ前首相の公判におけるEU代表の監視員として招請することで合意した旨発表。同日、シュルツ議長は、両監視員には公判書類の閲覧が許可される、また、11日から開始予定のウクライナでの活動においては、同前首相の親族及びウクライナ政府幹部等との面会が予定されている旨発言。

・同日、アザーロフ首相は、独ARDのテレビ番組において、ラザレンコ元首相に対する米裁判所判決文においてティモシェンコ前首相は汚職の共犯とされているとし、同前首相は政治犯ではない旨発言。これに対し、8日、「BYT-バチキフシナ」は、同前首相に対し汚職による有罪判決を下した国外の裁判所はないとし、アザーロフ首相の発言には根拠がない旨非難する声明を発表。

▼大統領の動き

・6日、ヤヌコーヴィチ大統領は、ジャーナリストの日に際する報道関係代表者との会合に出席、次回ウクライナ・露国家間委員会(大統領レベル)の会合は7月12日にクリミアで行われる旨発言。

・7日、ヤヌコーヴィチ大統領は、国内外投資家会議の会合に出席。

・8日、ヤヌコーヴィチ大統領は、サッカー欧州選手権ウクライナ代表チームの合宿所を訪問。

▼野党の動き

・7日、「統合野党」は、代表者会議を開催し、ティモシェンコ

前首相を「統合野党」代表、ヤツェニウク「変化の前線」党党首を「統合野党」評議会議長、トゥルチーノフ「バチキフシナ」党第一副党首を「統合野党」中央選挙対策本部長とする旨決定。

▼その他

・3日、ボポフ・キエフ市行政府長官は、1日にチェルノヴェツキー・キエフ市長が辞表を提出したことから、ヘレハ・キエフ市副市長兼同市議会書記が市長代行を務めることになる旨発言。また、5日、エフレーモフ地域党最高会議会派代表は、同党は同市長選挙を2013年に実施することを提案する意向である旨発言。

・6日、米NGO「フリーダム・ハウス」は、最近の中東欧では司法の独立が低下する等の非民主化の傾向が顕著になった旨、特にオルバーン・ハンガリー首相及びヤヌコーヴィチ大統領の「プーチン化」を指摘し、ウクライナの民主主義は2004年のオレンジ革命以前の水準に低下している旨の報告を発表。

2. 経済

▼金融・財政

・5日、IMFは、2012年及び2013年の国内通貨(フリヴニャ)の為替レートが悪化する旨予測。新しい為替レートの予測によれば、2012年は前回の予測8.14(フリヴニャ/USDollar)に対して、8.41(フリヴニャ/USDollar)、2013年は9.18(フリヴニャ/USDollar)。

・6日、シェルパコバ中央銀行通貨貸付政策局長は、除々に柔軟な通貨為替レート政策に意向する計画である旨発言。同局長は、全体の財政システムの採用により柔軟な政策をとる予定であり、必要であれば為替相場の変動を緩やかにするための十分な準備高を有している旨発言。

・8日、中央銀行は、2012年5月31日時点において、外貨準備高が9億260万ドル(2.9%)減少して、307億6千ドルになった旨報告。

▼貿易

・5日、ボロシエンコ経済発展・貿易相は、EUとの自由貿易協定の本文につきほぼ合意が得られた旨発表。また、ウクライナ交渉代表者のバレリー・ピアンスキー氏が自由貿易協定のテキストの一部をブリュッセルから持ち帰る旨発言。

・6日、ボロシエンコ経済発展・貿易相は、近い将来、乗用車に対して輸入義務を課す旨を発言。同相は、国内自動車産業を保護するために必要であり、第三者の委員会において、既に決定を了承しており、貿易パートナーとの交渉後に公式に決定がなされるであろう旨発言。更に、同省はまた国内産業の保護のため、石油生産の輸入に関する輸入義務を

課す可能性も検討している旨言及。

▼その他

・5日、閣僚会議は、富裕層の課税に関する法律を最高会議に提出した旨報告。そのドラフトは排気量3,990ccを超える普通乗用車に対して、その40%の課税を、排気量995ccを超える自動二輪車に対してはその10%の税を課す内容。

・8日、アザーロフ首相は、ユーロ2012サッカー選手権の準備のため、2年間でインフラプロジェクトの実施に400億費やした旨報告。

3 . 外政

▼ヤヌコーヴィチ大統領のトルコ訪問

・5日、ヤヌコーヴィチ大統領は、トルコを訪問し、世界経済フォーラム(WEF)の欧州・中東・北アフリカ・中央アジア地域会議において、ウクライナは欧州とロシアに対し問題を引き起こすのではなく、貿易や金融を促進させる架け橋となるべきである旨、また、欧州統合がウクライナの優先課題であることを強調した上で、(露・カザフスタン・ベラルーシ)関税同盟との協力関係も考慮しなければならない旨発言。

・同日、ヤヌコーヴィチ大統領は、訪問先のイスタンブールにおいて、エルドアン・トルコ首相と会談し、両国間戦略会議、ハイレベルの人的交流の実施及びエネルギー分野での協力関係等に関し協議。

▼グリシチェンコ外相のアゼルバイジャン訪問

・4日、グリシチェンコ外相は、アゼルバイジャンを訪問し、アリエフ大統領と会談。両者は、農業、航空・宇宙、貿易・経済、エネルギー、防衛及び建設(特にバクーの大規模インフラ整備計画へのウクライナ企業の参加)分野における両国関係の強化に関し協議。

・5日、同外相は、ラシサデ首相との会談において、両国間貿易・経済関係の現状及び強化、特に宇宙計画の共同実施に関し協議。また、両者は、観光促進のため両国間直行便の増設の必要性を確認。

・同日、グリシチェンコ外相は、メメディアロフ外相と会談し、国連、欧州議会、GUAM、OSCE及びBSEC(黒海経済協力機構)等の国際場裡における両国の協力強化に関し協議。

▼グリシチェンコ外相のポーランド訪問

・6日、グリシチェンコ外相は、ポーランドを訪問し、シコルスキ・ポーランド外相とともに、在ペレミシュリ(プシェミシル)・ウクライナ名誉総領事館の開設式典に参加。また、両外相は、ティモシェンコ前首相問題及び欧州サッカー選手権の準備状況等について協議を行なった他、査証手数料撤廃に関する両国政府間協定に調印。

▼ヤヌコーヴィチ大統領のポーランド訪問

・8日、ヤヌコーヴィチ大統領は、ワルシャワにおいてコモロフスキ大統領と会談し、二国間関係に関し協議。同日、両大統領は、ブラティニ欧州サッカー連盟会長等とともに欧州サッカー選手権開会式に出席。

▼その他

・4日、ヤツェニューク「変化の前線」党首は、ポーランドを訪問し、コモロフスキ大統領と会談。両者は、ウクライナの内政状況、最高会議選挙及びウクライナのEU統合の可能性等に関し協議し、同大統領は、最高会議選挙が民主的に実施された場合には、ウクライナ・EU連合協定署名の可能性がある旨発言。

4 . 防衛

・5日、ウクルスベツエクスポート国営企業は、イラクへの2回目のBTR-4装甲兵員輸送車62両の出荷が完了した旨発表。

・8日、国家保安庁は、北朝鮮人2人に対し宇宙ロケット機器に関する機密情報入手に関するスパイ容疑で禁固8年が宣告された旨発表。

・8日、ヤヌコーヴィチ大統領は、国家安全保障戦略及び軍事ドクトリンを承認。

・8日、ヤヌコーヴィチ大統領は、ユーリー・バイダク少将を空軍司令官に任命。

(了)